

今月の3冊プラス1



医療福祉総合ガイドブック 2011 年度版

編：NPO 法人 日本医療ソーシャルワーク研究会，発行：医学書院，TEL：03-3817-5657
定価：3360 円(本体 3200 円+税 5%)

日本国内における社会資源にも「地域間格差」はある。本書は，病院などで生活問題を中心に，患者やその家族の相談に当たっている医療ソーシャルワーカー(MSW)のグループが，保健・医療・福祉制度全般にわたって幅広く収集した情報を 1 冊の本にまとめたもの。2001 年の初版発行以来，最新の情報を収録するため，毎年改訂を行っており，その 2011 年度版である。地域で生活していくうえでの問題解決のために，使える制度のありとあらゆる手段の糸口が盛り込まれている。医療と福祉へ支援を求める際の手がかりを指し示してくれる有用な 1 冊である。

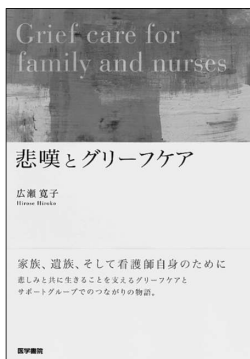


疾病論

人間が病気になるということ 第 2 版

著：井上泰，発行：医学書院，TEL：03-3817-5657
定価：3360 円(本体 3200 円+税 5%)

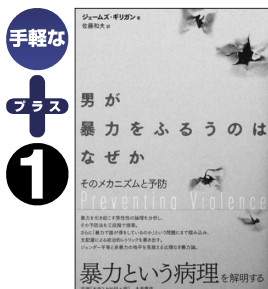
高度で複雑なシステムをもつ人間が，病気になるということはどういうことなのか，あたかも小説のように病気の成り立ちを語り伝えるという初版『学生のための疾病論—人間が病気になるということ』の基本方針を受け継いだ第 2 版。各疾病の導入部では，設定した病気を担った患者の日常風景の描写が書き込まれ，具体的にイメージしやすくなっている。疾病の成り立ちを理解するために必要な免疫学の知識も盛り込まれ，難しい内容がよりやさしく，そしてより深く書かれている。さらに，豊富な写真やシェーマが駆使されて，58 の重要疾患がわかりやすく解説されている。



悲嘆とグリーフケア

著：広瀬寛子，発行：医学書院，TEL：03-3817-5657
定価：2520 円(本体 2400 円+税 5%)

本書は，家族・遺族のためのグリーフケア，遺族のためのサポートグループの進め方，看護者自身のグリーフケアの必要性和方法が，それぞれ著者の体験事例を中心に綴られている。「私が記述できることは，がん患者の家族とその遺族のグリーフケアです。救急医療の場における心筋梗塞などの突然死，あるいは犯罪や事故，災害など，予測されない暴力的な死によって引き起こされる悲嘆と，そのケアについては記述できません。そのような場で働く人たちが求める内容には答えられませんが，それでもヒントになるものは見つけてもらえるのではないかと思います」(序より)



男が暴力をふるうのはなぜか

そのメカニズムと予防

著：ジェームズ・ギリガン，訳：佐藤和夫
発行：大月書店，TEL：03-3813-4651，定価：2940 円(本体 2800 円+税 5%)

原書のタイトルは「暴力の予防」。男性の暴力性について，従来の道徳的・法的アプローチではなく，公衆衛生学および予防医学の問題としてとらえ，臨牀的，経験的，疫学的な視点から，アメリカにおける暴力の原因に迫る。「恥」そして「格差社会」が暴力を生み出すとの分析や，暴力のない社会をつくるための第 1~3 次予防など，日本でも参考になるところは多い。この問題に少しでも関心のある方はぜひ。